

明けましておめでとうございます。今年は辰年。動物にあてはめると竜（龍）です。中国の故事にある「登竜門」とは、黄河上流の急流の溪谷、竜門をのぼりきった魚が竜に変わったという伝説から「成功への一步となる難関」という意味です。困難を乗り越えて次の飛躍の一步を踏み、今年はそんな一年にしたいものですね。

知っここ! 「税」のマメ知識

今月のマメ知識:【段階的に変わるビールの税率】

先日、国税局の税務調査を受けた地ビールの製造販売会社が、過去3年間に出荷した缶ビールについて「発泡酒に該当する」と指摘を受け追徴課税されたようです。わが国では、その製造方法や原料によってさまざまな酒類に分けられて税金がかかります。発泡性酒類については「ビール」「発泡酒」、第三のビールとも呼ばれる「その他の発泡性酒類」に分けられます。ビールと発泡酒の違いは、原料である麦芽の使用割合により区分されます。また麦芽の使用割合だけではなく、その原料や製法によって税率が細かく分けられて複雑です。2023年10月から、この複雑な体系をより簡単なものに一本化することなどを目的に、2026年までに段階的に税率が変更されます。350ミリリットル缶に換算すると、改正によりビールでは約6円引き下げられ、第三のビールは約9円引き上げられて、これまで約32円あった差が約16円まで縮まりました。3年後に一本化したときは350ミリリットル缶では約54円の酒税となる予定です。



光を放つ 名言コラム

【いつも通りでええんよ】

プロ野球セ・リーグで阪神タイガースを18年ぶりの優勝に導いた岡田彰布監督。日頃からインタビューで「普通にやること」の大切さを語っていましたが、息子の陽集さんも小さい頃に「普通にやればいい」と言われていたそうです。サンケイスポーツに寄せたお祝いの言葉の中で「受験のときに“いい点を取ろうと思うから本番で緊張する。いつも通りでええんよ”と。ただ、合格するために“しっかり準備しろ”とよく言われました」と話していました。試験でも、試合でも、会社や習い事の発表でも、本番でうまくやりたいのは誰もが思うところで、だからこそ準備をするわけです。岡田監督の言う準備とは、本番に「いつも通り」でいられるようにすることでしょう。大事なときにうまくいかない人は、準備についての考え方を見直してみてもいいでしょう。認識を新たに準備に取り組めば、結果も変わるかもしれません。

世界の偉人伝

今月の偉人:【ヘレン・ケラー】

ヘレン・ケラーは、アメリカ生まれの社会福祉活動家です。1歳のときの高熱により視力と聴力を失いましたが、家庭教師として迎えたアン・サリヴァンの教育を受け、指文字や言葉を学びました。その後はサリヴァンの献身的な支えによりハーバード大学を優秀な成績で卒業、講演や著作活動を積極的に行い、障害を抱える人々の教育や福祉の充実に生涯を捧げました。「人生はどちらかです。勇気をもって挑むか、棒にふるか」。困難に屈することなく、挑戦を選択し続けた人だったのです。

肉や魚などの生臭いものを切ったあとの包丁は、いきなりスポンジでこすらないほうがいいそうです。まずは水道の水を出しっ放しにして包丁を水に打たせると、包丁に付いた臭みが消えやすくなります。その逆に熱湯をかけると包丁に臭みが入り込んでしまいます。

知得する知恵袋

才人の言葉

あらゆる不平等のなか
に
チャンスがある

日本のコピーライター、エッセイストである糸井重里の言葉。満たされていない状況だからこそ、それを打開しようとする。そこにビジネスチャンスが生まれる。

振り向けばあそこにもここにも 商売のヒント

今月の商売のヒント：【人生がお手玉なら】

人生のたとえ話は色々ありますが、コカ・コーラの元CEOであるブライアン・ダイソンは「人生は5つのボールである“お手玉”の



ようなもの」と言っています。5つのボールとは「仕事」「家庭」「健康」「友情」そして「自分の心」です。さらに「仕事はゴムのボール。たとえ落としたりしても、また戻ってくる。けれど、あとの4つはガラスのボール。仕事に気を取られて落としたりしたら、もろくも壊れてしま

う」。この言葉は、人生におけるバランスの重要性と優先順位について、特に仕事との関係をどう考えるかの参考になります。仕事と他のボールとのバランスを取ることで、人生がより豊かになれば、仕事はさらにうまくいくようになるでしょう。肝心なのはバランスを取る方法です。ひとつは時間の使い方。仕事とプライベートで時間を明確に分け、仕事に集中すると同じようにプライベートの楽しみにも集中する。特に、自分の心のケアに時間を割くことでストレスの解消になります。そのため心のバランスを取ることが、これからはますます大事になる気がします。もうひとつは自分の価値観を見直すこと。自分にとって本当に大切なものは何かを改めて考えてみるのは、商売の重要性を考えることにもつながります。商売の目的は人それぞれ。生活のため、自己実現のため、自己成長のため、社会貢献のため、生きることそのもの、何でもありますが、どれも仕事だけでは実現できません。仕事はゴムのボールでも、他の4つはもろく壊れやすいガラスのボール。商売で成功するには、人生の優先順位を見失わないようにしたいものですね。

ナットク! 気になっていたあの言葉

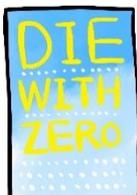
今月の気になっていたあの言葉：【年収の壁】

世帯主の扶養範囲で働く労働者の年収基準を指す。社会保険加入義務の発生、配偶者控除の減額により手取り収入が減少する壁として「103万円・106万円・130万円」などがあり労働者の就業調整の原因となっている。政府は、2023年10月より手取り収入の減少軽減策として「年収の壁・支援強化パッケージ」を開始した。

トナリの本棚

【DIE WITH ZERO】

投資家や映画のプロデューサーとして活躍するビル・パーキンスの著書。幸せになるお金の使い方に焦点を当てて話題を呼んだ。人生観が変わる一冊です。



元氣と氣づきを提供する
東京都豊島区池袋の佐藤茂税理士事務所

豊島区池袋 2-60-7 ルート池袋第3ビル4階

電話：03-3988-8820 FAX：03-3988-8824

<http://www.satousigeru.jp>